

地形図では山名不詳でも千葉県では高山 安房高山

実施日 2016年1月17日(日)
 天候 曇り
 リーダー 涌井 良明
 参加者 涌井良明、伊藤久雄、白石佐恵、
 向山博子 計4名
 費用 JR2,640円(東京起算) 車2,020円
 計4,660円
 タイム 木更津駅西口(8:20)サンラポールBS
 (9:25)木のふるさと館(9:50~9:
 55)尾根(10:08)尾崎分岐(10:2
 4)林道出る(11:35)安房高山(1
 1:53~12:30)昼食3基の石祠(12
 :38)高山林道登山口(12:44)愛
 宕神社(12:58~13:05)林道三叉
 路(13:25)関東ふれあいの道入
 口(14:00)林道へ出る(14:50)
 木のふれあい館(15:15)ロマン
 共和国(15:40~16:59)木更津駅
 西口(18:10~15)

冬限定の房総日溜まり山行の計画だったが、曇りでうすら寒かたが、林道で一パーティ二人と行き会っただけ、我々だけの静かな山を楽しめた。

下ノ台BSで高山岩山に向かう賑やかなパーティが下車し我々だけになったバスをサンラポールで降りる。その



のまま10分程進み清和県民の森-木のふるさと館付近で多少入山口を探してうろうろしたが、バーベキューサイトから改修中の急な階段を登り尾根上に出る。

房総らしく特徴のない小さな登降を繰り返す。テープその他のマーキングで、主尾根を外さないように進む。所々間違って引き込まれ



そうな薄い踏跡も見られる。痩せ尾根や急傾斜な登降、尾根を抜ける冷たい風に房総の山を感じながら歩く。右に林道が見え

るようになって尾根を外れて赤テープに従い林道に出る。トンネル手前でテープと岩に記された指示で左の山道へ。トンネル上をまたぐように登り、急な泥道を登り詰めると標柱と三角点、電波設備のある山頂に着いた。

僅か先の展望台?はとっても良い眺め



だ。長狭盆地を挟んで嶺岡山稜や鴨川方面などが房総の大展望が開けている。直下の広場?で昼食。風がなく寒さを感じないのが有難い。

踏跡を追って尾根を少し進み、三基の石祠のある一角に出る。樹間の道を下って、林道の登山口に出る。右に愛宕神社に寄ってみることにする。

10分程で二俣を右に登ると木製の鳥居の立つ愛宕神社である。社殿はなく、古びた石祠が静かに立つ静寂な所だ。

鳥居からの眺めも山頂に劣らない素晴らしいものだ。対面にはレーダードームのある愛宕山が良く見える。

登山口まで戻りそのまま林道を行き、三叉路を右に溯ヶ沢林道をしばらく歩きベンチのある休憩所から回り込むように



関東ふれあいの道に入る、これが結構な道で階段道で短いが何度も登降を繰り返す山道で下りモードには堪える。

岩を削った階段や痩せた尾根もあつたり楽しめる道でもある。一気に高度を下げて再び林道に出て、分岐を右にオートキャンプ場に沿って進み、そのまま林道を『木のふるさと館』へ戻り、R410をサンラポールの先、ロマン共和国のホテルでお茶をしながらバスを待つて帰路へ



着いた。

今回の房総は入山者が少ないこともあるが、手応えもあり、予想以上に時間もかかり、山慣れた人向きだったかも知れない。

でも、山中は我々だけの山歩きを楽しめたのは良い印象を残してくれた。

また静かな山にも行きましょう。

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・伊藤 久雄)